

ICTを活用した「林業日本一のまちづくり」（愛媛県久万高原町）

取組概要

町の基幹産業である林業の更なる発展を目指して、ドローンによる森林の資源量把握を行うと共に、それを元にした管理計画や流通情報などをICTを用いて川上ー川下間で共有できるシステムを構築し林業の成長産業化を図っている。

・取組の内容について、簡潔に記入してください。

取組の効果

木材の生産現場から建築事業者までをICTで繋ぐことで町の基幹産業である林業収益の安定化を図ると同時に林業という産業のあり方を変え、新たな雇用の場の創出など成長産業化が期待される。

創意・工夫した点

現状分析を事業前に行い、必要な事柄を整理した後、費用対効果を意識しつつ、既存技術の改良を含めた対策を行った。

他団体へのアドバイス

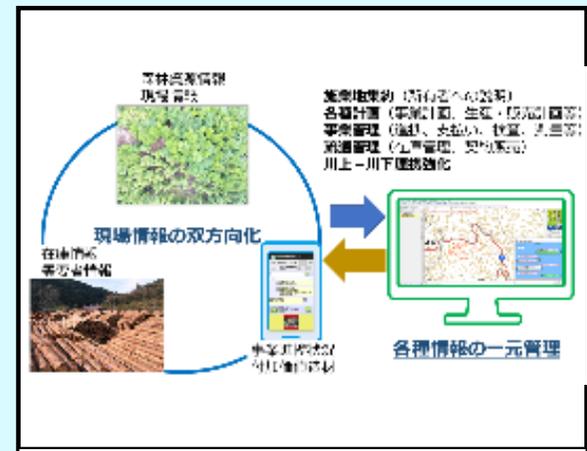
大学や民間の技術や知識を活用することが重要

人口 8,537人 (H30.1.1現在)

担当 林業戦略課



ドローンを用いた森林測量



ICTによる川上 - 川下連携